

応用編課題①【名前： 】

800 文字であらすじを作りましょう

あらすじ（物語がどう始まり、どう展開し、どう終わるかを文章で書く）

恋人の楓を同じ事故で無くした大学生の修一。自分だけが生き残り、後悔で修一の胸は一杯だった。

ある日、修一の前に亡くなったはずの楓が姿を現す。けれど楓は全ての記憶を失っていた。それでも修一は楓を保護した。

楓がいるのはいいが、本人かどうかを確かめるために楓の妹の明美に楓を会わせる。そして本物だと分かり、修一は楓がいる日々を送る。

楓がいる日々が戻り、大学でも普段通りに過ごせるようになっていく。すると明美が付き合い合っている恋人ともめていると相談を受け、そのことを楓にも相談してみる。楓に明美の記憶はないが、他人のような気はしないと協力する。

楓の協力の元、明美の問題は解決。すると楓は明美の記憶を取り戻す。だが修一の記憶だけはまだ戻らなかった。

自分が原因なのかと思い、修一は事故を改めて調べ直すことに。その間、楓にどういう顔をしていいのかが分からず、二人の間に距離が開く。

どんどん自分を追い詰めていく修一に、明美が姉はそんなことを望んではいないと言う。楓の気持ちも考えず一人で突っ走ってしまったことを反省し、修一は楓に謝る。だがそれを機に楓が姿を消してしまう。

後日、事故の真相で楓が自分を庇って亡くなったと分かる。楓は自分よりも修一という愛する人を助けたかった。それが分かり修一は楓を探す。だが見つけた楓は姿が消えかかっていた。

謝られた時に全てを思い出した楓だが、自分が消えていくところを見られたくなくて姿をくらましていた。修一は楓に感謝と、自分はもう大丈夫だと話す。楓は安心して成仏した。

修一の大学に明美が入学してくる。修一の心には常に楓の姿があった。

講評

大事な人を失った悲しみをどう乗り越えていくか、エピソードやキャラクターの変化をしっかりと描くことで説得力のある物語になりそうです。

・一行目の「同じ事故」というのが説明不足となっています。なにと同じ事故なのかわかるようにしましょう。

・明美に関わったことで彼女の記憶が戻ったようですが、それなら父母や他の周囲の人たちの記憶も戻そうと関わったりはしないでしょうか？ その方が修一のみ記憶が戻らないことがより印象づきます。

・また、明美はすんなりと楓の存在を受け入れたのでしょうか？ 修一以外にも見え、触れられるのなら死んだということがひっくり返ることになります。その辺りのフォローをどうするのか考えておきたいです。

・結局のところ、楓は幽霊だったのでしょうか？ 正体がわかるようにしましょう。

・ラスト「修一の心には常に楓の姿があった。」とありますが、これでは物語を通じて修一の成長や変化が見られないことになります。なにかしら前向きな変化を見せたいです。

・変化を見せるために、キャラクターの追加を考えたいです。現状、新しい出会いがないため、修一に刺激や心境の変化を与えるのが難しくなっています。

応用編課題②【名前： 】

講評を元に、800文字であらすじを作り直しましょう

あらすじ（物語がどう始まり、どう展開し、どう終わるかを文章で書く）

恋人の楓をバイクの後ろにのせていた時、事故にあって楓を亡くした大学生の修一。自分だけが生き残り、修一は後悔をしながら大学生活もままならない状態になっていった。

ある日、修一の前に亡くなったはずの楓が姿を現す。けれど楓は全ての記憶を失い、かつ楓と強い関りのない人間には見えない幽体だった。

修一は楓を保護し、本人かどうかを確かめるために楓の妹の明美や両親に楓を会わせる。本当の楓ではあるが、妹の明美は信じられず距離をとる。

楓の友人で修一の幼馴染でもある洋子はすんなりと楓の存在を信じる。妹との距離を何とかしたいと言う相談を修一がすると、明美は付き合っている恋人ともめていて余裕がないのかもしれないと分かる。楓に明美の記憶はないが、他人のような気はしないと解決に協力する。

楓の協力の元、明美の問題は解決。すると楓は明美の記憶や家族の記憶、更には洋子の記憶を取り戻していく。だが修一の記憶だけはまだ戻らなかった。

事故で死なせた自分が原因だから思い出せないのかと、自分を追い詰めていく修一。明美が姉はそんなことを望んではいないと言う。楓の気持ちも考えず一人で突っ走ってしまったことを反省し、修一は楓に謝る。だが楓が姿を消してしまう。

後日、洋子は楓が自分を庇って亡くなったと修一に教えにくる。失踪する前日、楓は洋子に自分よりも修一という愛する人を助けたかったことを告白。けれどそれを思い出した時が別れの合図になると。

謝られた時に全てを思い出した楓だが、自分が消えるのを見られたくなくて姿をくらししていた。迷う修一に洋子は迎えにいけと背を押す。洋子もまた修一のことが好きだったが、何より楓を思う修一を応援したくなった。

修一は楓に感謝と、その分までしっかり生きると話す。楓は安心して成仏した。

修一は楓を安心させるために、再び大学へと通い始めるのだった。

講評

前回の講評を元にしっかり修正できています。キャラクターの心理についてもう少し深掘りしましょう。

・楓がこの世にとどまっているということは成仏していないこととなります（実際ラストで成仏しますが）。

それを良しと思わないキャラクターが1人もいないことに違和感を覚えました。

また、楓自身も死んでいるのに周りからここまで受け入れられていることに何も思わない

のでしょうか？

読者目線から見ると、彼らが箱庭にいるような感じがしました。

・上記の中で妹の明美のみ信じられないと、ある意味一般的な考えを持っていますが、それも原因は「恋人と揉めてそれどころではないから」というもの。姉が亡くなった→その姉が出て来たのに恋人がそこまで優先されるものでしょうか？ 揉めている内容にもよると思うので、この辺りの筋を立ててほしいです。

また、問題が解決したあとも明美はこのまま一般的な考え（楓がこの世にいることが信じられない）を持ち続けてもいいかと思います。そうでないと、誰も「楓が死んだ」という現実と直面できていないからです。

・または一般的な考えは洋子に持たせるのもアリです。前回の講評を参考に新キャラクターを出していただきましたが、洋子の役割が明美から派生したものとそう変わらず、修一の成長・変化にはあまり寄与しないためです。

応用編課題③【名前： 】

--	--	--

主人公はどんな困難に打ち勝ちどのように成長するか

大切な人を亡くした悲しみで踏み止まっていた主人公が、悲しみだけではなかったことを思い出して先を向いていく。

主人公の属した集団は主人公の活躍によってどのように変化するか

主人公が前を向きたいという姿勢に、己の止まっていた時間も動かす。

ストーリー

この物語が始まるまでにどんな物語があってこの物語が始まったか（200文字）

主人公とヒロインは大学で出会い、お互いの興味のあることが特技だったためによく遊ぶ仲に。主人公は元々誰かと共にいたいという訳ではなく、一匹狼気質があった。けれど自分の知らないことを知っているヒロインに惹かれていった。ヒロインは危険なことはしてはいけないという意識から、スリルというのを知らない。主人公がそのスリルに付き合ってくれることに惹かれていった。そして恋人なるわけだが、主人公がツーリングに誘ったことで恋人は亡くなる。

ストーリー（800文字）

恋人の楓をバイクの後ろにのせていた時、事にあつて楓を亡くした大学生の修一。自分だけが生き残り、修一は後悔をしながら大学生活もままならない状態。

ある日、修一の前に亡くなったはずの楓が姿を現す。けれど楓は全ての記憶を失った幽霊となっていた。

修一は戸惑っている楓を保護し、楓の妹の明美や両親に楓を会わせる。けれど見えているのは明美だけ。明美は信じられずに距離をとる。

楓の友人の洋子に会わせ、記憶を取り戻す術を相談。靈感のある洋子は楓に対して心残りがある人がきっかけになると、妹の楓に対しての心残りを探ることを提案した。

楓が死ぬ前、明美は楓と受験のストレスで喧嘩をしていた。それを謝ることができないままの別れに後悔をしていた。

修一は楓がよく明美に何かできないかと考え、行動していたことを教える。それを知った明美はようやく楓に謝ることができた。すると楓は記憶を取り戻していくが、修一の記憶だけは戻らなかった。

修一は喜ぶが、洋子に楓は死んでいてこのまま残り続けるのはよくないことなのだと言われ、現実を知る。楓が成仏できないのは、亡くなった時に楓が修一に対して何か思いがあるからだ。

修一は事故で亡くなった楓が、生き残った自分に対して良くない感情を抱いたのかと落ち込む。だが明美に励まされ、修一は楓に事故当時のことや抱えていた思いを吐き出す。事故のことを謝られた楓は、霊体の自分を受け入れてくれた礼だけを言う。その後、楓は失踪した。

応用編課題③【名前： 】

後日、洋子は楓が失踪する前夜に、楓が事故当時に修一を庇って亡くなったことを話していたと教える。

謝られた時に全てを思いだした楓だが、自分が消えるのを見られたくなかったから失踪した。迷う修一に洋子は迎えにいけと背を押す。洋子も修一のことが好きだったが、楓を思う修一を応援しなくなった。

修一は楓に感謝と、その分までしっかり生きると話して楓は成仏した。そして再び大学へと通い始めるのだった。

講評

前回のプロットより、楓と明美の関係がスッキリとしました。後悔の内容も共感しやすいものになっています。

・幽霊や死者の噂が流行っているという設定があるので、主要キャラクター以外の幽霊も出してもいいかと思います。楓との比較対象になり、物語の幅が広がります。

・楓は消えるのを見られたくなかったようですが、理由を決めておきたいです。また、最終的には消える（成仏する）のを修一に見られることになります。楓がお別れをきちんとしたいと思えるような心境の変化を修一の行動によって表現したいです。

応用編課題④キャラクターシート【名前： 】

講評

- ・修一の「突然思い切った行動に出る時もある」設定は良いと思います。物語のエピソードにもっと生かしたいです。楓の「危ない橋は極力渡りたくない」と正反対なのも好印象です。生前のままとはいかないでしょうが、二人の掛け合いがテンポよく描けそうですね。
- ・5人目のキャラクターがいないですが、それだけ物語の幅が狭いということでもあります。課題③の講評でも書いたように、もう1人物話を動かすキャラクターがいると良いでしょう。

応用編課題④世界設定シート【名前： 】

世界の名前	日本	モチーフ	現代の日本
-------	----	------	-------

世界全体の事情	
全体的な地形 (「平面」など特別な構造の有無も)	2019年の日本。主人公は埼玉方面の大学に通うため、山道が多い。
現実との違い (魔法・怪物・超常現象など)	特になし。
有力な勢力 (国家や宗教、企業など)	特になし。
文明レベル (どんな技術や文化があるか)	都市伝説や噂が流行っている。ネットを見ても幽霊などの噂が絶えない。
価値観 (特徴的な考え方や信仰はあるか)	幽霊を信じるというよりは、それが流行りだからと話題にする傾向がある。
事件 (なにか特別な出来事はあったか)	特になし。

主な舞台の事情 名前(東京都森ノ市)	
場所・人口 (地形や、周辺との関係なども)	隣が埼玉県なため、緑が多い。川もある。 人は学生が多い。学生寮が多いから。 大型アドベンチャー施設とかはない。遊ぶなら都会に出る。
その地域や場所だけの特別な事情 (魔法、現象など)	幽霊の目撃情報が多い。けれど噂ばかりで本当かどうかは定かではない。
有力な勢力 (内部勢力、有力者など)	特になし。
事件 (なにか特別な出来事はあったか)	大昔に自殺者が絶えなかった森がある。幽霊になった人は後悔、恨みなどを持っている可能性が高いとか。

応用編課題④世界設定シート【名前： 】

講評

幽霊の噂の根拠となりそうな「大昔に自殺者が絶えなかった森」という設定はとても良いです。学生が多いことから根の葉もない噂も広がりやすいですね。普通の街とは少し違う特徴もあり、バランスも良いです。

学生は幽霊について軽く考えていることが多いかと思いますが、昔からこの土地に暮らしている人はどうでしょうか。自殺者が絶えないのなら、縁起が悪いと思っているかもしれないですし、お寺がありそうな気がします。そのお寺の関係者が地元の有力者という設定もありそうです。今回の物語に直接関わりはないかもしれませんが、街の描写をする際にリアリティを表現できます。

応用編課題⑤【名前： 】

◆50 シーンシート

タイトル	これは僕の後悔か
------	----------

番号	時間管理	そのシーンで起きること	各キャラクターの特別な行動や事情
1	夕方	家でダラダラとして、学校に行っていない修一	明美→楓の仏壇に手を合わせている
2	夜	コンビニに行くため外に出る修一	楓→幽霊として現れる 明美→家で楓の思い出を振り返る
3	過去（夜）	修一が楓と過ごした過去回想	
4	過去（深夜）	ツーリングをしている。修一が前に乗り、楓が後ろに引っ付く。 若干楓は怖がっている。	
5	過去（深夜）	事故に遭う修一と楓。楓が倒れ、修一が声をかけている。	
6	過去（後日、夜）	亡くなった楓の葬式。愕然とする修一	
7	過去（葬式後）	大学に行かなくなり、家でダラダラと過ごす。	楓→幽霊になって、そのことを気にかけている
8	夜（現在）	コンビニへ向かう修一	楓→幽霊として現れ、その場を彷徨う

9	夜（現在）	幽霊の楓と再会	楓→修一と会う
10	夜	楓に記憶がなく、幽霊だと知る	楓→驚く修一が誰なのか分からない
11	夜（二日目）	明美に合わせるも、信じて貰えない。	楓→家族に会い、懐かしさだけを感じる 明美→信じられず受け入れられない
12	夜（三日目）	洋子に相談。楓に対して強い思いがある人間にしか見えないことが判明。	楓→記憶を取り戻したい 明美→気持ちが追い付いていない。 洋子→楓との再会に喜ぶ
13	夜（三日目）	明美の強い思いを探ることに。	洋子→二人の会話を見て、微笑ましくなる半面、羨ましくも見える
14	昼（四日目）	明美の思いを探る前に、修一は楓をつれて散歩に。思い出も語る。	楓→思い出の自分が幸せそうだなと感じる
15	昼（四日目）	明美の高校を見に行く。丁度、楓が生きていたころは受験期だったと気づく。	明美→楓のことでもやもやしている
16	夜（五日目）	修一は明美と話す。喧嘩のことを訊く。	楓→不安
17	夜（七日目）	楓が当時、明美をととても応援していたと知る。そして楓が記憶を取り戻す	明美→姉との再会をようやく喜べる
18	夜（八日目）	楓が身近な人の記憶を思い出していく。	
19	深夜（八日目）	けれど修一の記憶だけが戻らないと分かる。	

20	深夜（八日目）	楓が幸せな方を取りたくて、自分の記憶は後回しで良いと思っている修一。	楓→修一を思い出したい 明美→修一の記憶が戻らないことが気にかかる
21	昼（十二日目）	楓と過ごすのが、洋子にこのままでは駄目だと現実を見ることに。 不安になるが、明美に励まされて向き合う覚悟を決める。	楓→自分が修一に何かしたのかと気にする
22	夜（十二日目）	明美が修一の元へ。修一は事故のことを話す。	
23	夜（十二日目）	姉は誰かのせいにする人ではないと、胸を張って答える明美。 それに背を押され、楓と少し向き合う決意をする。	
24	夜（十三日目）	楓を呼ぶ修一。楓もまた只ならぬ雰囲気に向き合う。	
25	夜（十三日目）	事故のこと、その後悔を抱えていることを話す修一。事故を起こしたことを謝った。	楓→徐々に修一の記憶を思い出す。
26	夜（十三日目）	両者納得。楓は修一に誰のせいでもなく、本当に事故だったんだよと言ひ聞かせた。	楓→思い出すと同時に、自分がこの世に留まれるのは自分が記憶を全て思い出すまでだと思ひ出す。
27	朝（十四日目）	朝、起きると楓の姿がない。	楓→一人でどこに行こうか彷徨っている。
28	昼（十四日目）	楓を探す修一。	
29	昼（十四日目）	明美に所在を聞く。けれど分からないとなり、成仏してしまったのかと思う。	明美→姉はきっと何か理由があると思ひている。

30	夕方（十四日目）	洋子に会う。	
31	夕方（十四日目）	楓が全てを思い出したと洋子から聞く。 事故は楓が修一を庇ったが、それを言うとまた自分のせいだと修一が思ってしまうと思い、言えずに洋子に相談していた。	
32	夕方（十四日目）	自分が消えるところを見られたくないと、楓はひっそりと成仏するつもりだった。 洋子に楓を追いかけろと言われ、修一は飛び出していく。	
33	洋子の過去	修一を好いたきっかけになった過去を思い出す洋子	修一→楓が行きそうな場所を探す。
34	洋子の過去	修一が楓を好きになったと分かり、応援するほうを選んだ自分。楓とは友人だったために、自分が引く方がいいと思った。	
35	現在・夕方（十四日目）	思えば恋心から逃げてしまった自分を自覚し、洋子は二人を応援することに。そこに悔いはなかった。	
36	夜（十四日目）	楓を探す修一だが、どこにもいない。 そして事故を起こした日に行こうとしていた場所を思い出す。	楓→事故の日に行きたかった場所へ行く。
37	夜（十四日目）	海で楓を見つける修一。来てくれたことに驚く楓。	
38	夜（十四日目）	思い出話に花を咲かせる二人。	
39	夜（十四日目）	楓が事故当時のことを語ろうとするが、全て聞いたと教える修一。	

40	夜（十四日 目）	楓をもう心配させない、自分は大丈夫だと修一は応える。	
41	夜（十四日 目）	楓は涙を流して安心する。そして二人は最後まで海で遊ぶ。	
42	深夜（十五 日目）	楓が成仏し、一人で泣く修一。	明美→仏壇で何かを察する
43	明け方（十 五日目）	洋子の元へ行き、成仏した旨を伝える修一。洋子はただ笑う。	
44	朝（十五日 目）	明美の元へ行き、仏壇に手を合わせる修一。明美は修一にバイクのことを教えて欲しいと頼む。	
45	朝（十七日 目）	家で朝の支度をしている修一。	
46	朝（十七日 目）	大学へと向かう修一。	
47			
48			
49			
50			

講評

それぞれのシーンでキャラクターの考えや心境が書かれているのでわかりやすくなっています。

- ・冒頭、コンビニへ行って幽霊の楓と出会う→回想→またコンビニへ行く最中に会う

とシーンの繰り返しになってしまっています。コンビニへ行くだけではシーンに動きがないのも気になります。初めのシーンはもう少しドラマチックなシチュエーションを考えてもいいでしょう。

また、一度別れる必要性を感じませんでした。9,10は2に入れ込みましょう。

- ・17のあとに修一と楓のエピソードを入れてもいいです。現状、記憶がない楓が修一のことをどう思っているのか、記憶はないけれど惹かれていく様を描けるとクライマックスが盛り上がります。